

美里町農業委員会委員の推薦及び応募の状況（最終公表）

平成29年11月30日時点

1. 推薦を受けた者の数（そのうちの認定農業者の数）
- 18人（11人）
2. 応募した者の数（そのうちの認定農業者の数）
- 3人（1人）
3. 推薦を受けた者及び応募した者に関する情報の詳細

農業委員会委員の推薦及び応募に応じた者

受付 番号	応募者（推薦を受けた者）								推薦者				応募及び推薦の理由
	ふりがな 氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況		認定農業 者の有無	氏名（個人、法人・ 団体の詳細）	職業	年齢	性別	
						耕作面積	主な経営作目						
1	まつだ こうじ 松田 攻治	無職	75	男	職歴 北辰商品（株）、各地支 店長、広報部長・営業部長など 歴任。北海道穀物商品取引所・ 仲買人協会役員。プロモート松 田（有）人材育成会社設立、設 立３０周年を期に休業。任意団 体「美里町を住み良くする会」 代表、ボランティア活動「歩い て健康・拾ってまち美化・うし ろ姿で啓蒙する」三善運動を提 唱。美里町を住みよくするた め、提言、実践、各種問題発見 改善に寄与している。	－ （20 ㎡）	－ （家庭菜園）	無	－	－	－	－	○農業委員会委員としての抱負等 農業委員会の委員として、農業構造改革の本質を 理解し、故郷の農業と食糧の安全保障を守り町の発 展に寄与したいと思います。具体的には町の発展を 第一に考えて、そして食の安全保障を考慮して、農 業委員として新しい時代の流れに沿いつつも、農業 の原点を忘れることの無いように、又、農家の生活 保障を他の先進国並みに引き上げることを国に求 めたいと思います。 ○美里町の農業の将来の展望等 最高度に発展した現在の農業技術はすばらしい ものです。この技術を持って、昔の自然を取り戻し たい、ということは、昔の自然の中にタイムスリッ プして、その中で高度に機械化された効率良い農業 が営まれているという世界を実現することになり ます。自然と環境の復元は努力次第であると思いま す。自然に優しい農業を営み、グローバル企業が押 しつける農薬や種子を使用するのではなく、農業者 自らの団体＝組合がそれを開発できるシステムの 構築を目指す事を提案します。自然環境が昔の様に 回復すれば文字通りの香り豊かな環境保全米が誕 生します。

2	おおとも しげよし 大友 重善	農業	62	男	平成 14 年 7 月～現在、農業委員会委員	田 2.1 ha 畑 0.3 ha	水稲、ハウス野菜	無	赤谷地域実行組合 連絡協議会 会長 小山 正昭 事業の目的：農業者の相互理解 構成員の数：70 人	—	—	—	○推薦の理由 地域の信頼、本人の見識、いずれも多であり、新しい制度のもとでの農業委員の重責に必ずや務まる方と思っています。又、これまで長らく農業委員を経験され、その判断力と知識は常に周囲の納得を得られると信じています。これらの想いから赤谷地域実行組合連絡協議会として、農業委員に推薦するものです。 ○農業委員会委員としての抱負等 今日まで農業委員として 1 5 年間の活動経験を活かして今後も農業委員活動を行っていきたい。
3	しばやま しんじ 柴山 真二	農業	55	男	宮城県小牛田農林高等学校卒業 宮城県実践大学校卒業 和多田沼 4 実行組合長 3 期 美里東部土地改良区総代 和多田沼営農生産組合経理及び庶務 平成 27 年 4 月～現在、農業委員会委員	田 11.5ha 畑 0.8ha	施設園芸(バラ) 水稲、小麦等	有	菅原 邦彦 横地 幸勝 和多田沼地域実行組合連絡協議会 会長 今野 勝芳 事業の目的：町と地域との連携 構成員の数：68 人 福ヶ袋地域実行組合連絡協議会 会長 牛渡 稔 事業の目的：町や農協等の農業団体との連携を密に地域農業に貢献 構成員の数：40 人	農業 農業 — —	60 68 — —	男 男 — —	○推薦の理由 和多田沼営農生産組合の設立と、現在会計として組合員のために貢献しています。また、来年には営農組合が法人に向かうため今後、組合員を統率出来る人として、また、農地保全のために農業委員として君臨して頂くよう推薦します。 地域のためによりよい農地利用、活用が出来るようリーダーシップを取って頂きたいため推薦します。 地域の違いはあるが、住居・圃場が隣接しており、作業面でも協力体制があるので、今後も和多田沼地区と協力して地域農業を継続していこうと考え、当地区でも中心的な立場である柴山氏を推薦します。 ○農業委員会委員としての抱負等 地域農業の健全な発展に寄与できるよう農業委員として活動していきたい。集落営農の組織化や法人化に向けた地域の合意形成を進めたい。地域の産地づくり班との話し合いを密にし、これまで以上に遊休農地の発生の防止に努めたい。農業者の老後の安定と円滑な経営継承のため農業者年金の加入促進に努めたい。

4	ささき ゆういち 佐々木 裕一	農業	58	男	大柳7実行組合長 農業共済組合総代 平成24年4月～現在、農業委員会委員	田 14.9 ha 畑 0.6 ha	水稲、大豆	有	大柳地域実行組合 連絡協議会 会長 繁泉 勝弘 事業の目的：地区の 生産、生活の向上発 展と連絡協調を図 る。 構成員の数：78人 農事組合法人ファ ームランド大柳 代表理事 齋藤 義行	—	—	—	○推薦の理由 現職の農業委員であり、大柳地域実行組合連絡協 議会の役員も務めていただいており、地区の農業振 興のために日々頑張っているため推薦します。 実行組合長、認定農業者として、農業委員として 地域の農業や農地の健全な利用・保全活動に積極的 に参画し、地域に大きく貢献しています。特に農地 集積、米の需給調整による転作の推進には自ら実践 し、農業振興と農地の保全に尽力している姿に日頃 から感心しています。当法人の設立に際しても、数 多くの助言と指導を賜り、無事設立に至ったことを 感謝しております。以上申し上げたことから農業委 員としてふさわしい人物として推薦いたします。 ○農業委員会委員としての抱負等 これから更に厳しくなる農業情勢に対応するた めの知識と先端技術を習得し地域に貢献出来るよ うにしていきます。地域の農業の受け皿に担い手と して協力する。美里町の農業の将来にしても、この ままではしだいに状況が悪くなると思われます。稲 作中心から変換を地域ぐるみで考え、推進し新たな 物に取り組みたい。また、後継者不足により機械の 大規模化が進むと思われるが、それに伴い地域の過 疎化等の問題も発生すると予想されるので、農村問 題と過疎化問題にも目を向けなければならないと 思う。
5	すずき ゆきひろ 鈴木 幸博	農業	59	男	平成21年4月～現在、農業委員会委員	田 13.2 ha 畑 0.1 ha	水稲、小麦、大豆 野菜	有	中二郷16実行組合 組合長 小茄子川清 事業の目的：地域農 業に関連する水路払 い、草刈り作業、コ ミュニティーの場の 提供 構成員の数：23人	—	—	—	○推薦の理由 先見性を持ち合わせた農業者としてリーダー的 存在である。美里町の農業に必ずや貢献できる適任 者である。 ○農業委員会委員としての抱負等 地域の皆さんとの対話を重んじ、農地の有効利 用、各農業情報の提供等の活動をしながら、他の委 員と連携し美里全域の農業振興、発展を考えて行き たい。 1. 担い手の育成と確保 農地の受託側も高齢化の時代へ。受託側に限界も 感じられる不安は募るが、集落営農組織の法人化 等々、各関係団体や農地中間管理事業と協力連携 し、その時代に沿った担い手の形態を作り出す方法 を考えて行きたい。それが耕作放棄地の解消にもつ ながると思う。 2. 農業者の所得の向上 平成30年から農政のシステムが変わり、これま

													での経営でどれだけの収入が得られるか不安もある。更には、所得税改革による増税も考えられ、農業経営は苦しくなることも考えられる。各種制度、青色申告等々、農家の皆さんと有利な事の活用を考え、推進して行きたい。
6	ごとう こうたろう 後藤 幸太郎	農業	61	男	宮城県小牛田農林高等学校卒業 平成18年4月～現在、農業委員会委員 江合川沿岸土地改良区総代 下平針営農生産組合組合長 中埜農地水広域協定副組合長 美里町交通安全指導隊第3分隊 JAみどりの小牛田地域転作推進協議会会長 JAみどりの集落営農組織連絡協議会副会長 JAみどりの労災保険加入組合監事	田 3.3 ha 畑 0.3 ha	水稲 トマト、露地野菜 大豆(生産組合作付20ha)	無	佐藤 實 今野 秀一 新城野営農生産組合組合長 今野 秀一 事業の目的:農業生産活動 構成員の数:11人 下平針営農生産組合副組合長 佐藤 實 事業の目的:農業生産活動、地域生活環境整備 構成員の数:10人 軍城上野実行組合組合長 今野 秀一 事業の目的:農業生産活動、地域生活環境整備 構成員の数:28人 下平針実行組合組合長 佐藤 實 事業の目的:農業生産活動、地域生活環境改善 構成員の数:20人	農業 農業 — — — —	68 65 — — —	男 男 — — —	○推薦の理由 農業委員を永年に携わり、経験豊富で集落ではリーダーとして活躍し、決断力、実行力のある方です。地域での信頼は厚く、農業委員として適任と思い推薦するものです。 農業委員として現職4期の実績があり、地域の信頼は厚く適任で推薦します。 集落では生産組合長等し、リーダーとして活躍しています。決断力、実行力、信用もあり適任です。 地域の信頼は厚く農業委員として適任であり推薦します。 集落では生産組合長等し、リーダーとして活躍しています。決断力、実行力、信用もあり適任です。 ○農業委員会委員としての抱負等 平成30年より始まる米生産の自主的な取り組みや未耕作地の改善、将来の担い手対策等、本町の活性化に寄与すべく取り組みます。

7	たかはし けんいち 高橋 建一	農業	68	男	J Aみどりの元理事（5年） 平成15年1月～現在、農業委員会委員	田 3.8 ha	水稲	無	田中 公三 千代窪 春吾 下二郷営農組合 組合長 高橋 行衛 事業の目的：組合員の営農活動の支援と転作田の受託 構成員の数：76人	農業 農業 —	67 62 —	男 男 —	○推薦の理由 地域の農地の集約、集落営農の法人化設立の為、農業委員として期待している。 農地行政一般に精通しており、長年の農業委員会委員としての経験を生かし、営農組合員の農地の保全に努め高齢化しつつある経営の世代交代を進め、又受委託を推進して農地の集約化をはかり、集落営農を活性化するためにも推薦する。 ○農業委員会委員としての抱負等 「農地利用の最適化」の推進が必須条件の農業委員、農業委員会として現場との話し合いを重ねて集落営農の設立、そして法人化に向けて取り組み関係機関と連携して美里町の発展に役立ちたい。
8	おの やすひろ 小野 保裕	農業	55	男	昭和60年岩手大学農学部農学科卒業 昭和59年度農業改良普及員資格取得 平成16～17年J Aみどりの青年部南郷支部委員長 平成8年～J Aみどりの青色申告会南郷支部会長 平成22年～美里東部土地改良区総代 平成28年～美里町認定農業者連絡協議会会長 平成23年～小島実行組合副組合長 平成27年4月～現在、農業委員会委員	田 13.9 ha 畑 0.1 ha	水稲、小麦、大豆 施設野菜（ミツバ）	有	小島実行組合 組合長 安部 陽一 事業の目的：組合員が協同して農業生産をあげ経営改善を諮ることを目的とする。 構成員の数：26人	—	—	—	○推薦の理由 小野保裕氏は、当組合の副組合長として組合運営や農用地利用調整に尽力している。また、農業委員や認定農業者連絡協議会会長、土地改良区総代等を努め、地域農業のリーダーとして活躍しており、今後も農業委員として美里町農業の発展に寄与してもらいたいため推薦する。 ○農業委員会委員としての抱負等 農業、農村が抱える課題として、農業委員会が取り組むべきものには遊休農地の発生防止・解消対策、農用地利用集積の改善、担い手経営対策の推進、食の安全安心対策の推進等があげられます。美里町においては、圃場整備事業の進展や地域の話し合いによる集団転作の実施によって現在他の市町村より遊休農地も少なく、農地集積も進んでいるように思います。しかしながら、担い手の高齢化、後継者不足の問題は顕著であり、集落営農組織の法人化の推進や地域の担い手へのより一層の農地の集積が必要と思います。こういった課題の解消に向けて、これまでの経験を生かして農業委員として取り組んで行きたいと思います。

9	ゆさ きょういち 遊佐 恭一	農業	49	男	J Aみどりの園芸生産協議会 会長 平成 19 年 3 月～現在、田中谷 地中営農生産組合会計 平成 24 年 4 月～現在、農業委 員会委員	田 15.3 ha 畑 0.1 ha	水稲、大豆、野菜	有	田中谷地中営農生 産組合 組合長 佐藤 利一 事業の目的：農業経 営 構成員の数：9 人 田中谷地中実行組 合 組合長 遊佐 清 事業の目的：農業経 営、地域組合員の相 互理解 構成員の数：15 人	—	—	—	○推薦の理由 営農生産組合では会計を担当する。肥培管理等を積極的に 行い、組合の牽引役として活躍している。これまでも農業委員として情報提供等の助言も頂き、組合の発展に寄与してきた。よって、農業委員候補に推薦する。 当組合としては、地区の農業担い手として各種行事、事業に積極的に参加し活動している。また、馬鈴薯の栽培等先進的な発送で農業経営を行い、地域の牽引役となっている。これまでの農業委員としての経験を最大限活かし、活動して頂きたく、農業委員候補者として推薦する。 ○農業委員会委員としての抱負等 本町農業の発展のため、あらゆる方策を見い出し、農業者の経営改善の一助となりたい。そのためにも、現在の汎用水田での活用を自ら実践し、地域の牽引役となりたい。委員としては、これまでの委員会は組織として不十分な所も見られた。委員としての肅正を提言し、改正農業委員会法の下における「新生美里町農業委員会」を実現したい。
10	へんみ かつとし 邊見 勝寿	農業	53	男	二又集落営農組合組合長 北浦中広域協定運営委員会会 長 元大崎農業共済組合理事 平成 18 年 4 月～現在、農業委 員会委員	田 4.6 ha 畑 2.0 ha	水稲、大豆	有	二又興農実行組合 組合長 横山 和雄 事業の目的：農業者 の相互理解 構成員の数：44 人	—	—	—	○推薦の理由 これまで 1 2 年間の農業委員としての実績があり、二又集落営農組合の組合長として実行組合と連携を取りながら農地利用活用ができるよう働きかけて頂いたり、北浦中広域協定運営委員会会長として北浦地域の農用地保全活動においてもリーダーシップをとっており、広く地域に貢献できる適任者のため推薦します。 ○農業委員会委員としての抱負等 今日まで 1 2 年間の農業委員としての活動経験を活かして、農業を通して地域との関わりを持ち、美里町の農業が若い担い手からも魅力のある産業として発展できる様考えながら活動して行きたい。

1 1	わがつま たくみ 我妻 卓美	農業	49	男	昭和 62 年宮城県小牛田農林高等学校卒業 平成元年宮城県実践大学校卒業 平成 26 年 1 月農事組合法人みらいす青生常務理事 平成 27 年 4 月～現在、農業委員会委員	田 4.2 ha 畑 0.2 ha ※農事組合法人 みらいす青生分 田 101.0 ha 畑 4.5 ha	水稲 水稲、小麦、大豆 野菜	有	農事組合法人みらいす青生 代表理事 齋藤 昌徳 事業の目的:組合員の農業に係る共同利用施設の設置、農作業の共同化、農産物の生産・販売・出荷 構成員の数:28 人	—	—	—	○推薦の理由 今回、みらいす青生が農業委員候補者として推薦する我妻卓美氏は、当組合の理事として設立当初より当組合の発展のため尽力しており、率先して農業経営を推進してきた。性格は温厚篤実であり、地域や組合員からの信頼も厚く、これからの地域農業を支える有望な担い手である。農業委員としての経験もあり、美里町の農業発展にとっても有用な人材である。従って、当組合として我妻卓美氏を農業員として最適と認め、自信をもって推薦するものである。 ○農業委員会委員としての抱負等 私はこれまで 3 年間、美里町農業委員として地域、町の農業発展のため尽力してまいりました。また、地域ではみらいす青生の担い手として稲作のほか、大豆・小麦・野菜等の生産、販売を行っています。先行きの不透明な農業情勢の中、美里町の農業を考えると、耕作放棄地の増加、後継者問題など、将来的には不安な面がありますが、農地を保全し後継者が意欲をもって農業に従事できるよう、これまでの知識や経験を活かし地域農業の発展に貢献したいと考えております。
1 2	ひさみち ゆうえつ 久道 雄悦	農業	57	男	木間塚ライスセンター組合組合長 平成 21 年 4 月～現在、農業委員会委員	田 7.3 ha 畑 0.1 ha	水稲、麦、大豆 野菜	有	武者 美太郎 佐藤 強 木間塚地域実行組合連絡協議会 会長 鈴木 龍一 事業の目的:転作ブロックローテーションの設定・農業者間の交換耕作・年 3 回の小堀払い日程の決定・先進地視察研修などの実践解 構成員の数:18 人	農業 農業 —	66 66 —	男 男 —	○推薦の理由 水稲、転作作業の共同組織を設立し、模範的な農業経営を実践しており、地区内農業者の中核的な存在であります。温厚誠実で、信望も厚く、これまで農業委員とし二期務め農地法等の知識も熟知しており、農業情勢の厳しい状況下、美里町農業の発展に寄与すると確信し推薦いたします。 地域の担い手として、木間塚ライスセンター組合の代表として、水稲、転作（小麦・大豆・馬鈴薯）に取り組んでいる。現職農業委員としての経験を活かして地域の農業振興に力を発揮してもらいたく推薦します。 ○農業委員会委員としての抱負等 地域の農業・農地を守り、次世代へと繋いで行く事が私達の役割だと考えています。そのためには地元の農業者の皆さんから求められ、評価される活動を堅実に実践し、農業委員としての責務を果たしていきたいと思います。

13	ほんま りょうたろう 本間 良太郎	農業	63	男	昭和 47 年 3 月宮城県小牛田農 林高等学校卒 昭和 47 年 4 月南郷町農業協同 組合入組 平成 29 年 3 月みどりの農業協 同組合退職	田 1.1 ha 畑 0.7 ha	水稲	無	八幡集落実行組合 組合長 千葉 誠一 事業の目的：農業生 産活動、集落づくり 構成員の数：20 人	—	—	—	○推薦の理由 本間良太郎氏は、今年 J A を退職し、現在農業に従事しながら集落実行組合、自治会等の役員をしていて積極的に地域づくりに取り組んでいます。特に南郷地区、本小牛田地区に精通しています。さらに、小学校、中学校の P T A、農協青年部の役員も経験しています。これらのことから農業委員会委員の抱負、当町の農業の将来展望を伺い、今回の農業委員会委員として推薦いたします。 ○農業委員会委員としての抱負等 農業をめぐる状況は、少子高齢化、農業政策等の関係で農地利用集積・集約化が必要不可欠になっています。耕作放棄地の発生防止は、生産ほ場の条件整備を関係機関との連携により、早期に取り組んで行かなければなりません。さらに、担い手の確保、人材育成、組織づくりしなければなりません。これらの解消、推進のため今回、農業委員会委員として応募します。 当町の農業の将来の展望について 1. 少子高齢化に伴う、担い手の確保 そのために ・ 小牛田地区の生産ほ場整備（条件整備）関係と連携し、早期達成を図る。 ・ 人材確保のためシルバー人材センターとの連携 ・ 担い手育成のための研修等の実施 ・ 土地有効利用による農業収益の確保（儲かる農業へのシフトづくり）を語る。 2. 農村公園の設置の検討 ・ 農地の耕作放棄地の発生防止・解消のため、情操教育を促すための体験農場、非農家対象に貸農園（滞在型農園も含め）の設置。
----	----------------------	----	----	---	---	----------------------	----	---	---	---	---	---	---

14	ふくだ なおこ 福田 なほ子	農業	63	女	平成 17 年 3 月みどりの農業協 同組合退職 平成 27 年 4 月～現在、農業委 員会委員	田 0.8 ha 畑 0.2 ha	水稲 梨	無	佐々木 恵美子 邊見 智香子	農業 農業	57 43	女 女	○推薦の理由 福田なほ子さんは現職の農業委員であり、農業者年金加入推進部長を務められています。今までの農業委員としての豊富な経験と知識を持っていますので、これからも女性の立場で美里町の農業振興に貢献される方ですので推薦します。 ○農業委員会委員としての抱負等 私は平成 27 年 4 月より町議会からの選任委員として農業委員になりました。農業者年金の加入推進部長として 3 年目を迎えております。これからも今までの経験を生かして、女性委員ならではの役割を意識し委員会活動をしたいと思い応募致しました。
15	いとう けいこ 伊藤 恵子	農業	65	女	昭和 46 年加美農業高等学校卒 平成 16 年～宮城アグリレディ ス 21 会長 平成 22 年 3 月～株式会社はな やか設立、代表取締役役に就任 平成 26 年～全国女性農業委員 ネットワーク会長 平成 11 年～現在、農業委員会 委員	田 1.2 ha 畑 0.1 ha ※株式会社はな やか分 田 26.6 ha 畑 0.2 ha	水稲 野菜 水稲、小麦、大豆 野菜	有	佐藤 恵子 及川 若江 上二郷地域実行組 合連絡協議会 会長 藤倉 慶治 事業の目的：地域農 業の振興 構成員の数：60 人	農業 農業 －	78 64 －	女 女 －	○推薦の理由 農業委員として長年の実績を評価しております。又、今後の活動を期待して推薦したいと思います。 農業、農村を巡る情勢は、まったなしの課題が山積していますが、伊藤委員の長年の農業委員として培った実績と経験をこれからも大いに発揮され、また、持ち前の行動力と深い見識を生かし、農業、農村、農地を守り、現場の声を政府に届ける公的代表とて、女性らしい視点も加味しながら尚一層の活躍を期待し推薦します。 ○農業委員会委員としての抱負等 農業、農村の持続的発展のため、担い手の育成と地域農業の振興に積極的に取り組むと共に、現況の農業情勢の下では農地利用の最適化を柱とし、6 次化や食農教育等必要とされているこれまでの経験と女性の視点、感性を活かしながら若い後継者や女性農業者の育成にも取り組んでいきたい。美里町の将来、若い人達が集う魅力ある農業、農村である様に。農業者の代表として芽を出していくことも。農業者の身近な存在として。

16	おがた つかさ 尾形 司	農業	39	男	平成19年11月～農事組合法人ナカゾネハーベスト代表理事に就任	田 3.3 ha 畑 0.1 ha ※農事組合法人ナカゾネハーベスト分（町外及び作業受託分含む） 田 21.2 ha 畑 1.3 ha	水稲 野菜 水稲、大豆 野菜	有	—	—	—	—	○農業委員会委員としての抱負等 農業委員としての仕事内容、中身などは一切分かりませんが自分の強みである若さを前面に押し出して、一から勉強していきたいと思います。私は今、やる気に満ちています。この生まれ育った美里町で、少しでも町のため、農業のために貢献出来れば非常に名誉なことと考えております。昔から続く良いことはそのままに、また、時代の流れに沿って変化していかなければならないことは柔軟に対応できるように頑張っていきたいと思います。 ○美里町の農業の将来の展望等 今、日本では美里町だけに限らず農業人口の高齢化が加速しています。また、至る所で耕作放棄地も増加の一途をたどっております。若い担い手も減少していますが、美里の農業が素晴らしい魅力的なものであれば若者も必ず興味を示してくれるはずです。そして集落営農の法人化などを進めていけばその時代に合った担い手の農業スタイルが確立していくはずで。それがやがて農家の所得向上や耕作放棄地の解消にもつながると信じております。
17	おおさき ゆきのぶ 大崎 幸信	農業	66	男	平成7年農業共済組合評価員 平成11年～現在、農業委員会委員	田 6.0 ha 畑 0.3 ha	水稲、大豆 露地野菜	有	堀切集落営農組合組合長 和堅 正廣 事業の目的：農作業の受託及び組合員の効率的な農業経営の実現と地域農業の担い手の育成 構成員の数：20人	—	—	—	○推薦の理由 農業委員6期18年の経験を生かし、地域農業の発展と担い手の育成により一層の活躍を期待して推薦します。 ○農業委員会委員としての抱負等 平成11年より現在まで農業委員として活動して参りました。これからも18年間の経験を生かし地域農業の振興と発展の為に努力することを決意し応募します。

18	ふるうち せいき 古内 世紀	無職	66	男	旧中新田町（現、加美町）出生 宮城県古川高等学校卒業 北海道大学法学部卒業 昭和52年～平成24年3月宮城県立高等学校教諭として社会科（主に政治経済、従として地理・歴史等）を教えた 定年退職後は加美町の義兄の水稲耕作を3年間手伝う 平成26・27年度峯山団地自治会役員（会計）	—	—	無	—	—	—	—	○農業委員会委員としての抱負、美里町の農業の将来の展望等 農村に生まれ、農業に従事する親の苦勞を見て育ち、農業への関心は絶えず持ってきた。農業はその歴史も古く、分野也多岐にわたり、奥行きも深い。また農耕生活は食習慣や年中行事とも結びついて各国や地域の文化を形成して来た。社会が如何に変化し、科学技術が発達しても、今後もその食糧生産という役割の重要さは変わらない。ただその有り様は時代の変化と共に変わらざるを得ないが、土地という限られた資源と気候という自然を相手にしている点、その変化のスピードが他の産業ほど速くは行かない難しさがある。それに凶作等に備えた食糧の安全保障という観点も欠かせない。ここに農業を保護する必要性の根拠があり各国もその姿勢を政策の基本として持っている。 近年、産業・経済や社会の構造変化が激しい。国家間の各種の自由貿易協定（F T A）・経済連携協定（E P A）によるモノやサービス取引・金融取引・人の移動の自由化・グローバル化、情報技術と通信の進展（I T化・I C T化）、情報とモノの結びつきの進展（I o T化）、少子高齢化、食生活や嗜好の変化による飯米需要の減少等々である。また、農業の内部においても、後継者の不足、担い手の高齢化（平均年齢が66歳を超えと言われる）、遊休農地・耕作放棄地の増加、流通過程の変化、そして来年度からは減反の廃止等々があり、状況は内外共に一層厳しさを増している。 こうした中で、農業委員会は本来、「契約自由の原則」に立つ私人間の法律関係を調整し、個々の農家経済の安定と農業全体の発展を図り、農地に対する権利移動・設定の円滑化や、遊休地の解消と農地利用の最適化を促進し、担い手の育成・発展を支援するなどその役割は重要である。農業委員に選任されたなら、農地法その他の関係法令への理解を深め、その主旨に則り、慎重かつ公正・公平な運用に努め、以て地域の農業の発展と農家経済の安定に尽くしたい。 わが美里町において農業は、その生産量で米が県内第5位、バラが第1位、梨が有数の地位にあるなど重要な基幹産業を成している。しかし、既述のように、環境は近年大きく変化し、日々厳しさを増している。この中で生き残るためには、農地の集約による規模拡大や農地利用の効率化による生産性の向上とコスト削減、先進技術や機械設備の導入によ
----	-------------------	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--

													る生産性の向上、大豆・麦等他の穀物栽培との組み合わせや野菜・果樹・花卉等の園芸作物を栽培するなど経営の多角化による収入の安定と向上、6次産業化等による美味しく高付加価値の食品の生産と販路の拡大、等が上げられよう。有望な担い手を育成・確保していくことも急務である。 今回応募するに当たり、経験・知識が浅く未熟な私ですが、もし選ばれたなら、先輩委員諸氏はもとより、実兄（大崎市で中規模の水稲耕作に従事）や義兄（加美町、元農業委員）ほか色々な人に教わりつつ、書物も読んで勉強し、今後のあるべき姿を探索しながら、その職責を全うすべく精進したいと思います。
19	すずき りゅういち 鈴木 龍一	会社役員	63	男	昭和 47 年 3 月宮城県小牛田農 林高等学校卒 昭和 48 年 4 月南郷町農業協同 組合産肉能力検定所所長 昭和 50 年 4 月就農 平成 2 年宮城南郷農協青年部 委員長 平成 2 年大崎地域青年連絡協 副委員長 平成 13 年 10 月有限会社とんた ろう代表取締役 平成 19 年 1 月～平成 21 年 12 月佐中農家組合長 平成 19 年 1 月～平成 21 年 12 月中二郷地域実行組合連絡協 議会会長	田 0.1 ha	野菜	無	佐中農家組合 組合長 齋田 正彦 事業の目的：農業を 通じ、共同作業、組 合員の親睦 構成員の数：37 人	—	—	—	○推薦の理由 民間会社の社長でもあり、1次産業～3次産業にいたるまで知識があります。地域内においても人望もあり、美里町の発展のために力を発揮する人物です。 ○農業委員会委員としての抱負等 世界的な人口増加のなか、食糧、農業の必要性や役割はますます重要視されている。しかしながら、日本農業、特にわが美里町の中心作目である稲作農業の将来展望を見ると、国の米生産調整政策の放棄により、農業者・農業関係団体一体となった、いわゆる生産者団体が中心となった米政策の確立と実践が求められている。かかる情勢のなか、民間会社の経営のノウハウを活かし、産業として確立できる農業実現と、水・環境・食糧の守り人としての農業の役割・位置付けを、消費者の国民に啓蒙するとともに、農業・林業・漁業という一次産業の発展に寄与したい。

20	ささき こういちろう 佐々木 幸一郎	農業	66	男	宮城農業短期大学卒業 青年団連絡協議会事務局長 農協青年部若杉会会長 小沼実行組合組合長	田 4.6 ha 畑 0.4 ha	水稲 園芸ハウス作物	有	佐々木 通 平吹 俊雄	農業 農業	67 67	男 男	○推薦の理由 水稲、園芸を中心とした専業農家で地元からの信頼も厚く、長年ＪＡみどりのの小牛田地域の実行組合長を初めとする多くの農業関係の役職に携わり、若者からも人望を集めている方です。従いまして農業委員として農地に関することについて勉強していただき、将来の農業後継者を育ててもらいたく推薦します。 ○農業委員会委員としての抱負等 有効な農地転用、遊休農地利用等農業委員として自覚を持ち、前向きに取り組んでいきたい。
21	ひじかた えいこ 土方 エイ子	主婦	71	女	昭和 63 年 6 月～平成 22 年 3 月 美里町消費生活相談員 美里町すばらしい宮城をつくる協議会役員 平成 10 年～現在 宮城県石巻西高等学校茶道部指導員 平成 18 年 4 月～平成 22 年 3 月 美里町都市計画審議員 平成 22 年 4 月～平成 27 年 3 月 宮城県消費生活審議員 公正取引委員会委員 東北運輸局審議員 平成 20 年 4 月～現在 美里町消費者グループ会長 平成 28 年 4 月～現在 裏千家（茶道）石巻教授者会役員	—	—	無	美里町消費者グループ“わだち” 副会長 安藤 あや子 事業の目的： ①消費生活に関する継続的な学習 ②必要により調査活動や商品テストを行う 構成員の数：31 人	—	—	—	○推薦の理由 昭和 43 年、国で消費生活関連法が成立して以来、消費者が求める農業をはじめあらゆる食品において、健康や食の安全を重視することで、決して安さにこだわるものではありません。食材はできるだけ地場産を使う、美里町では生産者ご自身の顔、そしてどの様な作り方をしているかがわかる店があります。当グループでは３９年前の設立当初より有機農業の学習をし、実践さらには町内の農業者の皆様と東京都内の消費者と共に農業体験等も行いました。これからも誇りを持って安全な農業を行っていただきます様、当グループより代表として会長を推薦します。 ○農業委員会委員としての抱負等 環太平洋経済連携協定（ＴＰＰ）の進展で日本中の農業地帯が衰退するのではと心配です。安定した輸入を図るのは無論ですが、大切にすべきは、国内の農地と現在の農業者の様に意欲ある担い手ではないでしょうか。 美里町には全国に誇れる農業高校があります。卒業後も輝ける場を地元につくることこそ町の使命ではないでしょうか。 社会の変化への機敏な対応は自治体等と提携し、農産物をつくるだけでなく風土にあった特産物を開拓する組織を立ち上げ、これ迄の農の夢に挑む醍醐味だと思います。 それには農業委員会がこれ迄とおり適切かつ透明で活発に職務執行しなければならないと思います。